

会議の概要

| | |
|---------------------------|--|
| 会議の名称 | 令和4年度 第2回 あま市人権施策推進審議会 |
| 開催日時 | 令和4年10月27日(木) 午前10時から午前11時まで |
| 開催場所 | あま市美和総合福祉センターすみれの里 3階ボランティアルーム |
| 議 題 | 1 第2次あま市人権尊重のまちづくり行動計画」令和4年度実施計画進捗状況について 2 その他 |
| 会 議 資 料 | 1 第2次あま市人権尊重のまちづくり行動計画」令和4年度実施計画進捗状況 2 人権啓発漫画冊子校正 3 人権週間特集号校正 |
| 公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由) | 公開 |
| 傍聴人の数 (公開した場合) | なし |
| 出席委員 | 加藤 美由紀 横井 公雅 荒木 聖弘 近藤 哲夫 服部 光雄 鈴木 正夫 村上 千代子 吉川 朝博 |
| 欠席委員 | 吉田 憲司 |
| 事 務 局 | 企画財政部長 中島 康晴 次 長 山内 進治 人権推進課長 飯尾 新也 主 幹 堀田 久美子 課長補佐 高橋 美果 係 長 加藤 昌也 |
| 担 当 課 | 高齢福祉課長 生涯学習課長 子育て支援課係長 |

議事内容

| | |
|---|--|
| (部長挨拶) | |
| (会長挨拶) | |
| 議題(1) 第2次あま市人権尊重のまちづくり行動計画」令和4年度実施計画進捗状況について | |
| 事務局 | 資料に沿って説明 |
| 委員 | 人権講演会の講師が未定ということだが、内容についてもう少し詳しく聞きたい。あと、定員800名ということだが、コロナ禍で問題ではないかと思うがどうか。 |
| 事務局 | この件に関しては、議題(2)のその他で報告します。 |
| 会長 | 他に質問等はないか。(質問等なし) 2名の委員から出された事業内容について、子育て支援課から説明を。 |
| 事務局 (子育て支援課) | 事業内容は、未就園児とその保護者を対象とし、定員を甚目寺22名、七宝30名、美和26名で募集し、音楽を流してリズムを取りながら、親子でふれあったり、子供の運動的な発達についても確認する場ということで開催している。 |
| 会長 | 今の説明で何か他に質問はないか。(質問等なし) 人権推進課事業の部落差別の講座は良い研修会であったが、質問時間がなかったということについて。 |
| 事務局 | 講演時間を1時間半で設定したが、講話が少し延長した。今後は、講師と調整し、質疑応答時間を取れるようにする。 |
| 委員 | 私もこの講座に参加し、2、3質問を用意していた。水平社運動が奈良県で発生した事情、「橋のない川」の舞台は和歌山県であったが、主体的な運動“水平社運動”が大正時代に、どうして奈良県で起きたのかということが聞きたいと思参加した。 |
| 会長 | 今後は、講師の先生へ質疑等の時間を設けていただくようお願いをしてほしい。 |
| 委員 | 6月に行われた男女共同参画映画会は、質問時間がしっかりあり、結構質問もされていて、すごく良い講演会だった。 |
| 事務局 | 時間は講演内容で変わってくると思うが、非常に奥が深い話で、あつという間の1時間半だった。反省し、今後の企画を進めていきたい。 |
| 会長 | 次に、高齢者が日常生活するうえで基礎的なIT講座を実施してほしいということについて、高齢福祉課、生涯学習課の回答は。 |
| 事務局 (生涯学習課) | 生涯学習課は、生涯学習講座を前期、後期と行なっている。パソコン講座は高齢者に限定せず、全く触ったことがない方を対象に「初めてのパソコン」という講座を開催している。60歳の方が多く、90歳の方も参加していただいている。また、スマホ、タブレットを使うことが多くなっていることもあり、スマートフォンの体験講座やタブレットの体験などを併せて実施し、50代半ばぐらいの方が受講している。 |
| 事務局 | ITの学習的なことについては、生涯学習課が講座をやっているのので、 |

| | |
|-----------------|--|
| (高齢福祉課) | 高齢福祉課は高齢者向けのイベントの際に、生涯学習課の講座を周知するなど、連携、協力して参加していただけるようにと考えている。 |
| 会 長 | 生涯学習課のパソコン講座で使用するパソコンは古く、今の機種に対応していない。新機種で覚え、楽しんでもらい、あま市に貢献された高齢者の皆さま方が楽しい余生を過ごせるような状況を行政がお手伝いしていくということを考えてほしい。予算上のこともあるがお願いしたい。 子ども家庭総合支援拠点について。 |
| 事務局 (子育て支援課) | あま市は、今年度10月1日付で設置した。内容については、すでに各担当部署で取り組んでいる事業や、子育て支援課は児童家庭係で虐待対応や学校と連携して調整を図り、子育て支援課と学校教育課、児童相談センターなどの関係部署が連携してやっていく内容となっている。例えば、令和5年に子ども家庭庁が設置される。その動向に併せて体制づくりを進めていきたい。 |
| 会 長 | ヤングケアラーについて。 |
| 事務局 (子育て支援課) | 市作成の啓発パンフレットについては、現在進めており、今年度中に市内全小・中学校学生に配布する予定。ヤングケアラーの把握については、相談があって初めて把握ができるところがある。引き続き、教育委員会と関係部署と協力し、実態把握につなげて対応していきたい。 |
| 委 員 | 子ども家庭総合支援拠点の設置だが、私が想定したのは拠点の部分。どこか場所を決めて、取り組まれるかと思った。どこを指定されたのか知りたい。 |
| 事務局 (子育て支援課) | 国の方の考えとしては、1ヶ所に場所を定めるのではなく、それぞれの今の場所で連携をするというイメージでとらえている。 |
| 委 員 | あま市全域ということですね。 全国的な取組みだということだが、そのあたりについては、改正児童福祉法が元になっているということと思うが、どうか。 |
| 事務局 (子育て支援課) | 国もそういった動向というところで、全国市町村に設置ということ。 |
| 委 員 | 理解した。併せて、子ども家庭庁が来年度できるという、その延長線というか、その辺りで事務を進めている、そんな理解でいいか。私の感想としては、あま市として、子供は子育て支援課が中心になって、いろんなことを進め、十分できているということを理解した。 2点目のヤングケアラーについて、パンフレットを作り、どのような形で、どのような対象に配布されるのか。児童生徒に直接配れるようなパンフレットを作って欲しいと思っている。実態調査をすることについてはなかなか難しいと思うが、学校教育課に協力いただき、進めていけるといいと思う。4月に厚生労働省が実態調査をしたがご存知か。 |
| 事務局 (子育て支援課) | 愛知県も併せて実態調査を実施した。8月に統計の調査報告が出ており、周知のパンフレットも作成している。 |
| 委 員 | 厚生労働省は6年生に調査し、ヤングケアラーは15人に1人ぐらいいるのではないかという結果。県の人数も同じぐらいか。 |

| | |
|------------------|---|
| 事務局 (子育て支援課) | 県の調査は小学校5年生も対象にしている。人数としてはそうだが、表面化しにくい問題、また家庭内の問題というところがあり、本当に実態の把握っていうところは難しい。周知を継続し、本人の自己認識、周りの大人が早期発見ということで、把握にも繋がっていくと考えている。 |
| 委員 | 国は今年度を初めとして3年間を集中取組期間という考えなので、合わせてあま市でも動いていただきたい。 |
| 会長 | 進捗状況と事前質問について、担当から説明いただいた。それぞれの説明はこれでよろしいか。 議題(2)のその他、事務局から。 |
| 議題(2) その他 | |
| 事務局 | 漫画冊子について。昨年度は「不当な差別や偏見をなくそう」、「見えない相手」、「心のバリアフリー」、「物の見方は一つじゃない」の4つの内容で作成。今年度は、「ヤングケアラー」、「革靴ができるまで」、「心のバリアフリー」、「物の見方は一つじゃない」に内容を2つ変更し、第1回目の校正を行った。 人権週間特集号の校正について。全16ページで、昨年度から人権講演会で発表する生徒の人権作文を掲載している。内容については、昨年度に策定した第2次あま市人権尊重のまちづくり行動計画、あま市第2次男女共同参画プランも掲載した。配布時期については、人権週間特集号は12月広報配布と併せて全戸配布。漫画冊子は市内小学生6年生を対象に12月の人権週間中に配布する。 |
| 会長 | 何か、意見等は。では、事務局よろしく。 |
| 事務局 | 人権講演会について。11月27日の日曜日、午後12時30分から甚目寺公民館の大ホールにて開催。当日、入場整理券が必要。11月22日火曜日に会場の甚目寺公民館で配布する。新型コロナウイルス変異株については、感染拡大の状況によっては整理券の枚数を減らし、制限をさせていただくことも考えている。講演会の内容については、美和中学校と甚目寺中学校の代表生徒による人権作文の発表、映画「一人になる」の上映、そのあと「映画一人になる」の語りされた女優・竹下景子さん、ハンセン病市民学会事務局長・訓覇浩さん、円周寺住職・小笠原英司さんの3人のトークショーを予定している。 |
| 委員 | 「映画一人になる」は、どういう内容か。どこの関係の方々が制作されたものか。 |
| 事務局 | 「映画一人になる」は、小笠原登医師の生涯を追跡した99分の映画。円周寺、小笠原登先生の生家が老朽化で建て替えを予定しており、何か形に残そうというところで、数年前に実行委員会ができ、その実行委員にハンセン病市民学会事務局長・訓覇浩さん、円周寺住職・小笠原英司さんが入られた。語りをされた竹下景子さんにトークショーの出演交渉をした。市内中学校代表生徒2名の作文発表、映画上映、トークショーということで構成させていただいた。 |
| 委員 | トークショーは何分か。 |

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 事務局 | 1時間です。 |
| 会長 | これをもって、令和4年度の第2回あま市人権推進審議会を終了します。 |